正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

2 月号 2023

赤十字が一丸となって支援にあたる トルコ・シリア地震



２月６日（月）に発生した大地震および相次ぐ余震により、住民の犠牲は増え続けています。ICRCが活動拠点を置いているシリアでは、まもなく12年となる紛争を耐え忍んできた人々がさらなる打撃を受けました。瓦礫で埋めつくされた街で、振り出しに戻ってしまった被災者が絶望に暮れないよう、私たちは現地の赤十字パートナーと共に支援を続けていきます。

シリア北部アレッポをICRC総裁が視察

赤十字の救援活動を支援したい ☛【日本赤十字社の受付窓口】

【目次】

紛争の現場から
・世界の混乱が始まった日から１年

日本人に知ってもらいたい

・使ってはいけない武器とそのワケ

・【中立】って“面倒なことは見過ごす”ってこと？

駐日代表部だより

・２月17日はICRCの誕生日：人びとの側に立ち続けて160年

・机上の理論を現場で！国際法の実践について知るチャンス

・ロールプレイ形式で論戦＆紛争の現場を疑似体験

紛争の現場から



世界の混乱が始まった日から１年

ロシア・ウクライナ紛争が混迷を極める中で、大きな犠牲を強いられている民間人。確固たる決意を胸に、ICRCはこれからも戦禍に見舞われた人々に寄り添い、最も弱い立場の人々から手を差し伸べていきます。

赤十字運動の一年間の取り組み

映像で振り返る2022年のウクライナ



戦場となった“僕たち私たちの学びの場”

黒板や文房具、机を失ってしまったパプアニューギニアの小学校。生徒、親、教師たちの思いが胸に刺さります。

語られたその思いとは...



今度はいつご飯が食べられるんだろう...

食べるものがない。食べたくてもお金がない。そんな状況に多くの人が陥っているアフガニスタン。子どもたちが健康に成長するために、いま十分に栄養を取っておくことが大切です。

アニメで見るアフマディー家の日常

日本人に知ってもらいたい！





Even wars have rules/limits …“戦争とはいえやりたい放題は許されない”。このICRCのキャッチフレーズを今月は紐解きます。

使ってはいけない武器とそのワケ

【中立】って“面倒なことは見過ごす”ってこと？

駐日代表部だより



２月17日はICRCの誕生日：人びとの側に立ち続けて160年

戦争など圧倒的な暴力の犠牲となっている人たちを一人でも多く救いたい。一世紀半以上犠牲を生み続けている世界を憂いてきた私たちの拠点は、現在100以上の国・地域に及びます。この数が少しずつでも減っていくことを、160年を迎えた今、願ってやみません。

この160年で変わったこと、変わらないこと



机上の理論を現場で！国際法の実践について知るチャンス

駐日代表部の法律インターンとして６カ月間、国際人道法に絡めたリサーチやイベント運営に携わってくれた宋さん。リーガル業務のやりがいや、今後のキャリア展望を語ってくれました！

詳しくはこちら



ロールプレイ形式で論戦＆紛争の現場を疑似体験

ています。同時開催したロールプレイ大会は、まさに２月末にアルバニアで本戦が開催されています！

国内予選の結果はこちら

その他のニュースはこちら

© 2023 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp